

i 館内インフォメーション

令和2年度 県立美術館メンバーズクラブ 4/7(火)より受付開始!!



メンバーズ会員証

山口県立美術館と山口県立萩美術館・浦上記念館では、両館で開催する展覧会等をおして美術に広く親しんでいただき、地域文化の向上に寄与することを目的として、2館共通のメンバーズクラブ会員の募集をスタートいたします。7年目となる本年も、皆さまのご入会をお待ちしております。

*会員特典・入会方法などの詳細については、当館HPまたは会員募集チラシをご覧ください。
*県立萩美術館・浦上記念館では、4/1(水)より受付開始。

会員特典 【有効期限】令和2年4月1日(水)～令和3年3月31日(水)まで

- 2館の特別展(企画展)を5回まで無料、6回目以降は半額。また、コレクション展(普通展示)は無料(回数制限無し)でご覧いただけます。
- 展覧会オープニングセレモニーへご招待。(抽選で10名様限定)
- 開催中の展覧会図録を特別価格でご購入いただけます。
- 2館の展覧会・イベント情報などをご自宅にお届けします。
- 会員限定イベントにご参加いただけます。
- 協賛店でお得な割引が受けられます。
- 会員証のご提示で提携施設(サントリー美術館ほか)の入館料が割引になります。



閉館後の美術館で開催された「プレミアムギャラリートーク」の様子

入会金 一般：2,800円、学生：2,300円、シニア(70歳以上)：1,900円
募集期間：令和2年4月1日(水)～7月31日(金)
※学生会員は19歳以上の学生の方が対象となります。

キャンパスメンバーズ

山口県の2館の県立美術館を有効活用し、美術に親しむ機会をより豊かにしていただくことを目的とした、高等教育機関向けの会員制度です。ご入会いただいた学校の学生及び教職員の皆様は、身分証を提示していただくのみで、展覧会を無料で何度でも鑑賞いただけます。加盟校の一覧および詳しい内容については、当館ホームページにてご確認くださいませ。

法人サポーターズ

山口県に県立美術館が誕生して40年。地域における文化芸術活動の充実強化を図るため、法人の皆様方に県立美術館をご支援いただく法人サポーターズ制度を創設しました。ご加入いただいた法人の皆様は、さまざまにご利用特典を受けていただきながら、美術館活動を幅広く支援いただく制度です。※令和2年度の受付は3月31日(火)までとなります。

| 2020 - 2021 schedule | | 山口県立美術館 令和2年度年間スケジュール | | | |
|----------------------|-----------------------------------|---|--|--|--|
| 展示室 A | 展示室 B | 展示室 C | 展示室 D | 展示室 E | 展示室 F |
| 4月 | 4/7(火)～6/7(日) アンセル・アダムズ | 4/7(火)～6/7(日) 香月泰男 シベリアの風景 | 4/7(火)～5/10(日) 麗らかに、凜として | 特別展 4/7(火)～6/7(日) ハマスホイとデンマーク絵画 ファーストマンデー 5/4、6/1 | 全館休館 [3/30(月)～4/6(月)] |
| 5月 | | 5/12(火)～6/7(日) 初夏を愉しむ | | | |
| 6月 | | | | | 全館休館 [6/8(月)～6/22(月)] |
| 7月 | 6/23(火)～8/30(日) 香月泰男 ちいさな世界 | 6/23(火)～8/30(日) 近現代日本、 油絵の冒険 | 6/23(火)～7/26(日) 山美の奇才 | 特別展 7/7(火)～8/30(日) 奇才～江戸絵画の冒険者たち～ | |
| 8月 | | 7/28(火)～8/30(日) 西湖園・金山寺園 | | | 全館休館 [8/31(月)～9/14(月)] |
| 9月 | | 特別展 9/15(火)～10/18(日) 生誕600年記念 雪舟と狩野派 ファーストマンデー 10/5 | | | |
| 10月 | | | | | 全館休館 [10/19(月)～10/29(木)] |
| 11月 | 10/30(金)～1/3(日) 山美小品集 | 10/30(金)～1/3(日) 雪舟作品 映像展示 | 10/30(金)～11/29(日) それぞれの「モダン」 ～大正昭和の日本画 | 特別展 10/30(金)～1/3(日) 小村雪岱スタイル 江戸の粋から東京モダンへ ファーストマンデー 11/2、12/7 (お正月は、1/2(土)から開館) | |
| 12月 | | 12/1(火)～1/3(日) たたずむ女たち ～粟本武雄の世界 | | | 全館休館 [12/28(月)～1/1(金・祝)] |
| 1月 | | | | | 全館休館 [1/4(月)～1/8(金)] 1/21(木)～24(日) 第73回 山口県学校美術展覧会 |
| 2月 | 1/9(土)～3/28(日) 顔・カオ・貌 | 1/9(土)～3/28(日) 香月泰男の シベリア・シリーズ | 1/9(土)～2/21(日) 雲谷派の花鳥図 | | 全館休館 [1/28(木)～2/5(金)] |
| 3月 | | 2/23(火・祝)～3/28(日) 森寛斎と 森派の絵画 | | 2/18(木)～3/7(日) 第74回山口県美術展覧会 | 全館休館 [3/29(月)～3/31(水)] |

Information

■休館日
月曜日 ※祝日・休日の場合は開館
※特別展開催中のファーストマンデー(第1月曜日)は開館、ただし、8月3日(月)は閉館。
年末年始 12月28日(月)～2021年1月1日(金・祝)
臨時休館 4月1日(水)～6日(月)、6月8日(月)～22日(月)、8月31日(月)～9月14日(月)、10月19日(月)～29日(木)、2021年1月4日(月)～8日(金)、1月28日(木)～2月5日(金)、3月29日(月)～31日(水)

■開館時間
9:00～17:00(入館は16:30まで)

■料金
コレクション展:一般300(240)円 学生200(160)円 ※()内は20名以上の団体料金。
※18歳以下と70歳以上および高等学校、中等教育学校、特別支援学校に在籍の方等は無料。
※障害者手帳等をご持参の方とその介護の方1名は無料。
※2020年度メンバーズクラブ会員およびキャンパスメンバーズ加盟校の学生と教職員の方、法人サポーターズ会員の方は無料。
特別展:別途定めた料金

f 美術館情報をFacebookで紹介しています。



山口県立美術館
Yamaguchi Prefectural Art Museum
〒753-0089 山口県山口市龜山町3-1
TEL: 083-925-7788 FAX: 083-925-7790
https://www.yma-web.jp/

山口県立美術館ニュース「天花」第133号 令和2年3月発行 編集 指定管理者サンポート・バリエーション・センター 発行 山口県立美術館 印刷 櫻報社写真印刷株式会社

133

- Contents
コレクション展
麗らかに、凜として
- 特別展
ハマスホイとデンマーク絵画
奇才～江戸絵画の冒険者たち～
生誕600年記念 雪舟と狩野派
小村雪岱スタイル 江戸の粋から東京モダンへ
- 館内インフォメーション
年間スケジュール



松林雪貞 《長春花図》 昭和28年(1953) 絹本着色 山口県立美術館蔵

Collection

コレクション展

麗らかに、凜として

2020 4/7 火～5/10 日

表紙作品解説

松林雪貞
《長春花図》 昭和28年(1953) 絹本着色
山口県立美術館蔵

幾重にも重なるしなやかな花びら。顔を寄せれば上品な甘い香りが漂ってきそうです。横へ自由に広がる様子からすると、土に根を張っているのでしょうか、枝葉の先にも花卉にも水分がゆきわたり、みずみずしい透明感にあふれています。

描いたのは松林雪貞(1878-1970)。日本画家である一方、「近代水墨画の巨匠、松林桂月の妻」として生きた女性です。明治11(1878)年、旧白河藩士の家に生まれた雪貞は、10代にして展覧会入賞を果たし、将来を嘱望される存在となります。24歳で師・野口幽谷門下の兄弟子だった桂月と結婚。彼が病で療養生活を余儀なくされた際には、教員免許を取得し、図画科教師として家計を支えました。やがて日本美術協会展を中心に、夫婦ともに優秀な成績を収めるようになり、画塾を開いて二人で指導にあたることもありましたが、30歳を前後する頃から夫の補助に専念し、画壇からは退いていきます。

表向きの活動はしなくなってからも、桂月の参考にと、お弟子さんと並んで、よく庭の木々や花を写生していたという雪貞。生涯絵筆を離すことはなく、愛する人のため、身近な自然をまっすぐに見つめ続けていたのです。

「長春花」という名の通り、この長い期間咲く薔薇の、やわらかくも凜とした姿を見ていると、そこに私はつい彼女の生き方を重ねてみたくなってしまいますが、きっと雪貞にそんな気負いはないのでしょうか。奇をてらうことなく、その美しさを描きとめた、75歳の頃の一枚です。

(専門学芸員 岡本麻美)

特別展

ハマスホイとデンマーク絵画

2020年 4月7日(火) - 6月7日(日)

◎休館日：月曜日 *ただし5/4(祝)、6/1 **ファーストマンデー** は開館
◎GW期間中の5月2日～5日は20:00まで開館(入館は19:30まで)

北欧の柔らかな光が射し込む静まり返った室内。開け放たれた扉、控えめで上品な家具調度、後ろ向きの女性。独特の詩情が漂う絵の作者は、デンマークを代表する画家、ヴィルヘルム・ハマスホイ (1864-1916)。フランスで印象派が生まれ、ゴッホやゴーガンが活躍し、ピカソが独自の絵画を描き始めた頃、ハマスホイは、首都コペンハーゲンの自宅の室内で抑えられた色調の静謐な絵画を黙々と描いていました。西洋絵画が著しい展開を遂げた19世紀末にあって、ハマスホイ作品の静けさはひととき異彩を放っています。

本展は、近年、世界的に評価が高まっているハマスホイの芸術を、西日本で初めて紹介するものです。さらに、これまで日本でほとんど紹介されなかったことのない、19世紀デンマークの名画も併せてご覧いただけます。珠玉の作品を通じて、北欧の小国が育んだ豊かな芸術文化をたっぷりご堪能ください。

観覧料 一般 1,500 (1,300)円 シニア・学生 1,300 (1,100)円

18歳以下
無料

※シニアは70歳以上の方、()内は前売りおよび20名以上の団体料金。
※高等学校、中等教育学校、特別支援学校に在籍の方等は無料。
※障害者手帳等をご持参の方とその介護の方1名は無料。

関連イベント

入門講座
「ヴィルヘルム・ハマスホイー 静寂の詩人」
日時：4月25日(土) 14:00～15:00
会場：山口県立美術館 講座室
講師：萬屋健司(山口県立美術館 学芸課主任)
定員：80名(聴講無料、当日先着順)

夜間開館ギャラリートーク
GW期間中の夜間開館日に本展担当学芸員が展示の見どころをご紹介します。
日時：5月2日(土)～5日(火) 18:00～(1時間程度)



ヴィルヘルム・ハマスホイ
《背を向けた若い女性のいる室内》
1903-04年 油彩/カンヴァス ラナス美術館
©Photo: Randers Kunstmuseum



ヴィルヘルム・ハマスホイ
《農場の家屋、レスネス》
1900年 油彩/カンヴァス デーヴィズ・コレクション
The Davids Collection, Copenhagen



江戸 葛飾北斎 「上町祭屋台天井絵 怒涛図(女波)」
長野・小布施町上町自治会【展示期間：通期】

特別展

奇才

— 江戸絵画の冒険者たち —

2020年 7月7日(火) - 8月30日(日)

◎休館日：月曜日 *ただし8/10(祝) は開館

The Pioneers Masters of Edo Painting



京都 重要文化財 伊藤若冲 「菜蟲譜」(部分) 栃木・佐野市立吉澤美術館
【展示期間：通期】

観覧料

一般 1,400 (1,200)円
シニア・学生 1,200 (1,000)円

18歳以下無料

※シニアは70歳以上の方、()内は前売りおよび20名以上の団体料金。
※高等学校、中等教育学校、特別支援学校に在籍の方等は無料。
※障害者手帳等をご持参の方とその介護の方1名は無料。



博多 仙厓 「寒山拾得・豊干禅師図屏風」左隻 福岡・幻住庵
【展示期間：7/7～8/2】



土佐 絵金 「伊達競阿国戯場 累」 高知・赤岡町本町二区
【展示期間：7/7～8/2】

近年、江戸絵画に対する注目度が飛躍的に高まっています。その立役者は、伊藤若冲・曾我蕭白といった絵師たち。狩野派を中心に語られてきた従来の江戸絵画史においては、傍流とされてきた彼らの個性が、魅力あふれる表現としてとらえられるようになってきたのです。

既成の殻を打ち破るような個性を「奇想」という観点から評価するこうした動きは、1960年代末ごろから始まりました。同時に、全国各地に埋もれていた個性豊かな絵師たちも次々に発掘され、現在の「江戸絵画ブーム」をもたらす土壌が形成されていくこととなります。

一方、従来の江戸絵画において「主流」と捉えられてきた絵師たちのなかにも、装飾性を絵画の世界に持ち込んだ俵屋宗達・尾形光琳や、写生において新しい手法を試みた円山応挙など、前例にとられない自由な発想で独自の表現を切り拓いた絵師たちがいました。

本展は、こうした主流、傍流という評価の枠組みを越え、「奇」の追求こそが江戸絵画の主流であったことを提示するものです。京都・大坂・江戸はもとより、北は北海道、南は九州にいたるまで、斬新な表現に挑んだ絵師35人の作品を一堂に紹介します。



京都 重要文化財 曾我蕭白 「唐獅子図」左幅 三重・朝田寺
【展示期間：7/7～8/2】

特別展

生誕600年記念 雪舟と狩野派

2020年 9月15日(火) - 10月18日(日)

◎休館日：月曜日 *ただし10/5 **ファーストマンデー** は開館

雪舟生誕600年の記念の年である今年、山口県立美術館では〈雪舟が日本絵画史に与えた影響〉をテーマとする展覧会を開催します。題して「雪舟と狩野派」。《国宝 山水長巻》(毛利博物館蔵)をはじめとする雪舟の名品と、狩野探幽や狩野山雪などといった狩野派の画家たちが雪舟画に学んで描いた作品とを並べて展示することによって、江戸時代以降、雪舟がいかんして「画聖」とされるようになったのかについて改めて考えます。



雪舟等楊 倣夏珪山水図
室町時代 個人蔵(山口県立美術館寄託)

特別展

こむらせつたい 小村雪岱スタイル 江戸の粋から東京モダンへ

2020年 10月30日(金) - 2021年 1月3日(日)

◎休館日：月曜日 *ただし、11/2、12/7 **ファーストマンデー** は開館
年未年始(12/28～1/1)

大正から昭和初期にかけ、挿絵や装幀、舞台美術など多彩なジャンルで活躍し、大衆を魅了した小村雪岱 (1887-1940)。発足間もない資生堂意匠部で商品や広告デザインにも携わった稀代のアーティストは、その繊細かつ洗練されたスタイルによって、「昭和の春信」と称されました。本展では江戸の粋を受け止め、東京のモダンを体現したそのスタイルを、雪岱の肉筆画、版画、装幀を中心に、その源流ともいべき鈴木春信 (1725?-1770) や、雪岱に呼応する近代・現代工芸も交えて紹介します。



小村雪岱「青柳」
木版多色刷 昭和16年(1941)頃 個人蔵